

今回は、中谷彰宏さんの「人は輝く為に、生きていく」から紹介します。

文化でつながっている関係は、長続きします。

文化力は、頭がいい・悪いとは違う種類です。本を読んでいない人はつまらないという事です。

高度経済成長時代は、文化力が小さくなり、経済力の基準が大きくなった時代でした。発展途上の時代は、経済重視の時代です。経済から文化の時代へ再び時代の流れが大きく動いています。2000 年までが経済の時代で、2000 年からは文化の時代です。経済だけで動く人は、気の毒な事に短期間で時代の影響を受けやすいのです。一生付き合う関係になりません。

アメリカの世界は、美人とお金持ちのカップルというのが当たり前です。美人とお金持ちの関係は恋愛ではありません。経済的合理性における契約です。だから離婚が多いのです。アメリカに離婚が多いのは、美人とお金持ちです。お金持ちが浮気したから離婚するのではなく、貧乏になったら離婚です。浮気が理由で離婚する事はありません。お金持ちは女性からお誘いをたくさん受けます。それが経済原理です。

それを承知の上、織り込み済みで結婚しているわけです。付き合っている彼の景気が悪くなってきたら、今のうちに慰謝料の分を先取りしておこうとします。一種の希望退職です。商売に失敗したら即離婚です。とてもわかりやすい関係なのです。

文化力で付き合うと、つながりは長続きします。経済的にうまくいってもいなくても、付き合い続けることができるのです。すべての判断基準の軸を、経済を軸にするか、文化を軸にするかで決まります。

経済軸の人は、経済大事の人と集まって、文化軸の人は文化軸で集まります。

長続きする事が、財産です。文化力を磨くには、本を読む、音楽を聴く、絵を見る、風景を見る、風を感じる、いい話を聞く、山に登る、お庭を見る、お参りをする、習い事をする、手紙を書く、何でもいいのです。

長続きするために、自分自身の文化力を磨く努力をしましょう。

Q1：アメリカで美人とお金持ちが離婚をする理由は何ですか？

A1：( )

Q2：自分自身の文化力を磨く努力は何をしていますか？

A2：( )